

- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しようは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字をけて書きはじめ、だんらくしよきにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

神の森ヤクスギランド

神山小学校 六年 日高 優

「すごくきれいな森だ」

ぼくは、雨の中ヤクスギランドに、カッパを着て、行った。たこがある。ぼくはそれが、最初のヤクスギランドだった。まず車にダッシュで乗りこみ、ヤクスギランドにむかって出発した。ぼくは頭の中でヤクスギランドがえがかれていた。コケがきれいで、サルヤシカも、居るんだらうな。川も流れていて。

「ついたよ」

あ、というまにいった。そして、車からおりると、どしゃぶりだった。

「せ、かくのヤクスギランドなのに」

気持ちが悪くすんだ。ゆっくりゆっくり進んで行、た。そしてぼくは、じんどん森のコケや木と、心の中で会話をしながら歩いた。そして歩いていくと、友達が、

「あれ見て、大きな橋があるよ」

といわれて、ぼくはその橋を見た。ものすご

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文じようは三きようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字をけて書きはじめ、だんらくごとく一きようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのきようも二ばんめのマスから書き、あたまをそらえましょう。

（ ） 月 日 曜日

ぐ大きかった。その下の川を見ると、雨で川
 がすごくあれていた。そしてあれた川の上に
 かかる橋を歩いていて、ぼくがうざけて橋を
 ちらしてみると先の方から、
 「キヤーだれがゆらしているの」
 「キヤーゆらさないで」
 と声が聞こえてきてぼくは、思わず、しまっ
 たとにが笑いをした。そして、どんどん先へ
 進んでいくとあるものを見た。それは、大き
 な木がたおれて、その上に芽が生えてきてい
 るのを見た。昔はりっぱに立っていた木がと
 しおいてたおれて芽を支えているんだと思っ
 た。ぼくは、生命つてすごいなと思った。そ
 して最後に、屋久島の長老、大玉杉を見に行
 った。やはり見て最初に思ったことは、巨大
 だなということだ。ぼくは、大玉杉と心の中
 で会話をしてみた。しゃべっているところ、どう
 やら、縄文杉と同様に、この大玉杉も屋久島
 全体を見守ってくれているようである。この
 ヤクスギランドは、すばらしいコケのじゅう

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきょうをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しょうは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きげて書きはじめ、だんらくごとくにぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

() 月 日 曜日

たんでしきつめられ、植物がたくさん生さて
 美しい森でまるで、屋久島のお宝だと思っ
 た。ほくは、この屋久島の宝のヤクスギラン
 ドは、一生このままで残していきたいと思う。
 そのためには、保ご活動にも参加していきた
 い。ほくは、これからもヤクスギランドを、
 屋久島のお宝として身守り、自分の子どもた
 ちにも、美しい森だと教えて、家族でも見に
 行ってみたい。

(不許複製)

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

